2026
11月10日（火）

元気das
Daily Magazine

発行日／2026年11月10日（No.6527）
編集・発行所／元気das編集室
東京都港区芝公園1-6-7-6　※内容に関する
問合せは0120－063711〈会員限定発行〉

BUZZ WORD Mr.MYSTERY?

来年1月にスタートする、柳楽優弥さん主演の連続ドラマ。物語の冒頭で犯人の正体が明かされ、事件を捜査しない主人公が犯人の心に“寄り添う”ことで真相にたどり着く、1話完結型の新感覚ミステリーが描かれる。

東京外為（米ドル）9日17時　前週末比	157円94－95銭（▼01銭）	シドニー外為（豪ドル）9日6時半	108円72－91銭	日経平均株価 9日15時 ©日本経済新聞社 JIJIPRESS 提供	58,775円50銭（△1,340円73銭）

生26-261110,営業開発室

導入が進む

サテライトオフィス

◆従業員や企業、地域にもメリットが

本社や主要拠点以外の場所に、衛星（satellite）のように設置された小規模拠点「サテライトオフィス」。政府による働き方改革の推進や情報通信技術の進展などを背景に、多くの企業から注目されています。導入することで、場所や時間の制約がない柔軟な働き方の実現をはじめ、業務拠点の分散によるリスク軽減、ワークライフバランスの向上による離職防止・人材確保などが期待できます。地方にサテライトオフィスを設けた場合は、地域活性化にもつながるでしょう。



◆導入や運用における課題



サテライトオフィスにはメリットが多い反面、開設や運用にかかる費用、コミュニケーションの希薄化、情報漏えいなどのセキュリティーリスク、労務管理の難しさといった課題も指摘されています。国や自治体による支援制度や助成金を活用することで、コスト面の負担を軽減できるでしょう。意思疎通の円滑化を図るには、ビジネスチャットやWeb会議システムといったICTツールが有効。また、機密情報の管理や勤怠管理に関しては、自社の状況に応じたルールの整備が不可欠です。

Happy Birthday

プロ野球選手
西勇輝さん
1990年生まれ



小学1年で野球を始める。2008年、ドラフト3位でオリックスに入団。1年目から救援として1軍デビューを果たす。11年に初の2桁勝利を挙げ、12年10月8日のソフトバンク戦でノーヒットノーランを成し遂げた。18年オフに、国内FA権を行使して阪神へ移籍。翌年、自身初となるゴールデン・グラブ賞に輝く。23年には、チームの18年ぶりのリーグ優勝、38年ぶりの日本一にも貢献した。

昨年は、右膝の故障で戦線離脱。プロ18年間で7度の2桁勝利を収め、今季限りで現役を引退する。

136年前のきょう

「凌雲閣」オープン

1890年、東京・浅草に、12階建ての展望塔「凌雲閣」が完成した。1～10階はレンガ造、11～12階は木造で、高さは当時日本一の約52メートル。日本初の電動式エレベーターが設置されたことでも話題を呼び、東京の名所として人気を博した。眺望室には望遠鏡が置かれ、富士山や箱根などを一望できたという。

気になるGoods

「スクイーズ」で癒やされる？



独特の触り心地を楽しむおもちゃ「スクイーズ」が空前のブームになっている。2000年代初めにゲームセンターの景品などとして販売され、SNSの動画をきっかけに世界的に流行。水のようにとろけるシリコーン製や、表面をパキパキと割る製品、甘い香りがするものなども登場している。ストレス解消や集中力アップに役立てたい！

ヘルシー用語辞典

経鼻ワクチン

2024年に国内で販売が始まった、鼻の中にスプレーするインフルエンザワクチン。2～18歳を対象に接種できる。注射によるワクチンと比べて変わらない効果があるといわれ、針の痛みがないことから注目されている。

明日水曜日は「旬菜」をお届けします！

その他のヘルシー用語や健康情報はコチラ▶https://genkidas.com

日本生命は全国の自治体と協定等で連携し、
健康増進・疾病予防に関する取組みを推進しています

ご存知ですか？
あなたの街の「がん検診」

市町村で受診できるがん検診は
「無料」または「少額の自己負担」で受けられます
（※市町村により異なります）

市町村でのがん検診について、詳細は以下のサイトよりお住まいの区域をご確認ください

がん対策推進企業アクション ホームページ

あなたの街の「がん検診」市町村別 がん検診に関するお問い合わせ先

URL https://www.gankenshin50.mhlw.go.jp/contact-by-municipality/contact.php

がん対策推進企業アクション 市町村別がん検診 検索

※随時更新されていますが、古い情報が含まれている場合があります

がん対策推進企業アクションとは

がん対策推進企業アクション

がん検診受診率向上と治療と仕事の両立支援を目指す、厚生労働省の委託を受けた国家プロジェクト。
職域におけるがん検診受診率向上を企業連携で推進していくことで、“がん”と前向きに取り組む社会気運を醸成。企業が率先して「がん検診受診」の大切さを呼びかけることにより、受診率60%以上を目指します。

日本生命は「がん対策推進企業アクション」の推進パートナー企業として、がん検診受診の大切さを呼びかけています

NISSAY

※がん検診は、正しい方法を正しく行うことで、がんによる死亡リスクの低下が期待できる一方、「エックス線検査による放射線被ばく」等のデメリットがあるとされています。がん検診に対する理解を深め、健康と安心のために適切に利用してください。詳細については「がん検診についての解説ビラ」をご覧ください。

生24-3138,商品開発G